

令和 6 年度宮城県原子力防災訓練（県災害対策本部運営訓練等）実施結果の概要

1 実施概要

令和 6 年度宮城県原子力防災訓練における「県災害対策本部運営訓練」及び「オフサイトセンター運営訓練」については、東日本大震災等の災害経験に基づき、今後も起こり得る大規模地震・津波等に備えるため、「震災対策推進条例」に定める「みやぎ県民防災の日」に合わせて実施している県主催の自然災害の防災訓練と合同で実施した。

訓練では、能登半島地震を踏まえて、自然災害との複合災害を想定し、発災直後からの初動対応を確認するほか、半島部に孤立地域を設定したシナリオにより実施した。

【実施日】令和 6 年 6 月 1 2 日（水） 午前 9 時から午後 3 時 3 0 分まで

【主催】宮城県、女川町、石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町

【参加機関】6 2 機関（国、県、関係 7 市町、県警察本部、自衛隊など）約 7 0 0 人

※うち原子力防災分として、女川オフサイトセンターに 2 2 機関約 8 0 人が参加

2 主な訓練の実施結果

（1）県災害対策本部運営訓練（場所：県庁）

複合災害を想定して、県災害対策本部事務局の運営に係る初動対応や実動機関との連携、オフサイトセンターとの情報共有・伝達等についての実施方法・手順等を確認した。

<結果・課題>

- ・ 自然災害との複合災害を想定した訓練の中で、県地域防災計画や各種マニュアルに沿って県災害対策本部事務局を開設し、市町や関係機関との連絡体制を確立するための初動対応を確認できた。
- ・ 自然災害対応に加え、原子力災害の事態進展も想定した県災害対策本部会議を実施することができた。
- ・ 訓練シナリオでは、半島部で自然災害由来の孤立地域が発生したことを想定し、2 拠点間（県庁と女川オフサイトセンター）で「実動機関のヘリ、船舶の運航調整」を行う「活動調整会議」等の連携体制を確認できた。
- ・ 複合災害の場合は、例えば孤立地域において住民の「救助（自然災害）」と「避難や一時移転（原子力災害）」がそれぞれ必要となる等、実動機関との調整が複雑化する可能性も考えられる。どのように「活動調整会議」を活用すればより円滑な調整が図られるか、実動機関の意見も伺いながら検討を行う必要がある。



県災害対策本部事務局の活動状況



活動調整会議（オフサイトセンターとの WEB 会議）

(2) オフサイトセンター運営訓練（場所：女川オフサイトセンター）

女川オフサイトセンターに「県現地災害対策本部」を設置し、「原子力災害現地対策本部の各機能班」や「緊急時モニタリングセンター」等との情報共有や伝達訓練を実施するとともに、半島部で自然災害由来の孤立地域が発生したことを想定した国及び関係市町、実動機関との連携を確認した。

<結果・課題>

- ・ 午前中に参集要員向けの「研修や重点活動項目に関する課題演習」を実施して、訓練の狙いや防護措置等に関する知識、各種システムの操作手順等を再確認した上で、午後から「図上訓練」を行う等、訓練の理解度や習熟度を増すための取組を行った。
- ・ WEB会議システムを活用して、2拠点間（県庁と女川オフサイトセンター）で「活動調整会議」や「県災害対策本部会議への県現地対策本部長の出席」を行うなど、情報伝達・連携を密にすることができた。
- ・ 「活動調整会議」によって、2拠点間で「実動機関のヘリ、船舶の運航調整」を円滑に行うことができたが、調整後の実施状況や道路状況等の情報もリアルタイムかつ正確に共有する必要がある。情報をアウトプットした電子ホワイトボードや既存の情報共有システムを活用する等、より有効な手法の検討が必要である。



活動調整会議（県庁とのWEB会議）



原子力災害合同対策協議会全体会議

3 今後の対応等

訓練を通じて、複合災害時における県災害対策本部事務局の初動体制や、2拠点間（県庁と女川オフサイトセンター）の連携体制等について、検証することができた。今後、訓練実施結果等を踏まえて必要な見直しを図るなど、引き続き原子力防災体制の充実・強化を図る。

また、令和6年度宮城県原子力防災訓練のうち、未実施となっている「住民避難訓練等」について、年度内の開催に向けて、引き続き関係機関と調整を行う。

令和6年度宮城県原子力防災訓練（住民避難訓練等）の概要

1 目的

- (1) 原子力災害発生時における関係機関の防災体制や相互連携に係る実効性の確認
- (2) 各種計画やマニュアル等に基づく手順の確認
- (3) 関係機関やその要員における原子力防災技術の向上
- (4) 女川地域の緊急時対応を検証し、訓練結果を踏まえた教訓事項の抽出・改善

2 実施日

令和7年2月8日（土）

※原子力災害医療活動訓練の一部は、令和7年2月13日（木）に実施

3 主催

宮城県、女川町、石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町

4 訓練項目

住民避難等訓練、緊急時モニタリング訓練、広報訓練、原子力災害医療活動訓練、交通対策等措置訓練、原子力災害避難支援アプリ運用訓練

5 重点事項

(1) 複合災害時の初動対応や実動機関との連携体制等の確認

複合災害時を想定して、初動対応や実動機関との連携、情報共有・伝達等について、実施方法や手順等を確認する。

(2) 孤立地域の発生を想定した応急対策の確認

半島部に孤立地域が発生したことを想定して、避難経路、屋内退避等の防護措置、海路避難・空路避難等の応急対策に向けた国及び関係市町、実動機関等との連携を確認する。

(3) 「女川地域の緊急時対応」等に基づく手順の確認・検証

「女川地域の緊急時対応」に取りまとめられた避難計画等に基づく、防護措置について実施手順の確認や検証を行う。

(4) 原子力防災に関する住民の理解促進

屋内退避・避難等の防護措置の実践や、わかりやすい資料の提示・説明により、その重要性や手順等について住民理解の促進を図る。

6 実施概要

(1) 住民参加人数 約200人

(2) 参加機関 国、自衛隊、警察本部、栗原市、大崎市、富谷市、大和町、大郷町、大衡村、亘理町など計42機関（主催自治体含む）

(3) 今年度訓練の特徴

令和6年能登半島地震の教訓を踏まえて、半島部に孤立地域を設定して海路による住民避難や空路による物資供給の手順等を確認する。また、自然災害の影響等によりモニタリングポストが欠測した場合を想定し、ドローンによる緊急時モニタリングを行う。

7 想定

(自然災害)

三陸沖において地震が発生し、県内の広い範囲で震度5強～6強を観測（女川町及び石巻市で震度6強）。その直後に大津波警報が発表され、各地域にて避難者が多数発生したほか、地震及び津波により、人的・住家被害が発生、避難者多数、土砂災害により孤立地域が発生した。

(原子力災害)

自然災害発生後、大津波警報発令に伴い、定格熱出力運転中の女川原子力発電所2号機を緊急停止。外部電源の喪失、機器故障によって原子炉注水機能を喪失し、全面緊急事態に至る。

その後、炉心が損傷し、放射性物質が放出され、特定の地点において一時移転が必要な空間放射線量率の上昇が認められた状況になった。

令和6年度原子力防災訓練マップ

PAZ・準PAZの住民避難訓練等

※時間は想定です。

※取材・参観可能場所以外については、駐車場所がないなど、対応ができませんので、恐れ入りますが取材・参観を御遠慮願います。

岩出山文化会館
〔スコアハウス〕
(避難所)

【取材・参観可能】
11:30-12:00
(事前説明 11:15~)
高清水体育センター
(避難所)

ヘリコプター(空自UH-60J)
住民搬送
江島 08:45発
曾波神公園 09:15着



バス(空自第4航空団)

民間バス

次の3ルートによる避難訓練を実施

- ① 女川町PAZ内 陸路 → 高清水体育センター
- ② 江島 空路 → 曾波神公園 陸路 → 高清水体育センター
- ③ 鮎川港 海路 → 石巻港 陸路 → 岩出山文化会館〔スコアハウス〕

【取材・参観可能】
10:00-10:10
石巻港
(海路避難経由地)

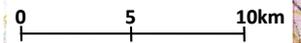
船舶(海保うみぎり)
住民搬送
鮎川港 08:20発
石巻港 10:00着



船舶(海保しまかぜ)
海上広報
鮎川港沖



民間バス、自家用車



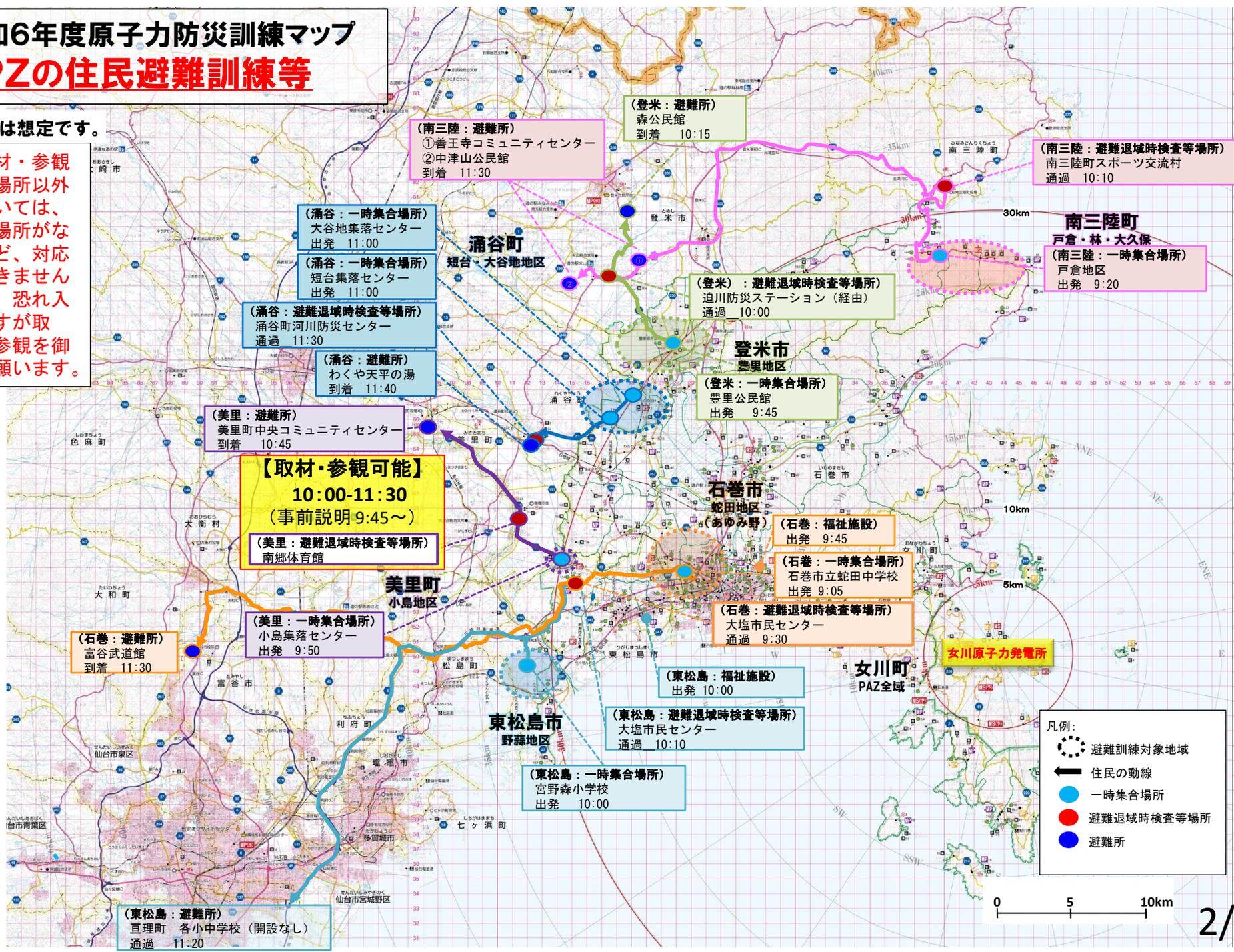
図中の写真は、航空自衛隊、第二管区海上保安本部の各HPから引用しています。

令和6年度原子力防災訓練マップ

UPZの住民避難訓練等

※時間は想定です。

※取材・参観可能場所以外については、駐車場所がないなど、対応ができませんので、恐れ入りますが取材・参観を御遠慮願います。



(南三陸：避難所)
①善王寺コミュニティセンター
②中津山公民館
到着 11:30

(登米：避難所)
森公民館
到着 10:15

(南三陸：避難退域時検査等場所)
南三陸町スポーツ交流村
通過 10:10

(涌谷：一時集合場所)
大谷地集落センター
出発 11:00

(涌谷：一時集合場所)
短台集落センター
出発 11:00

(涌谷：避難退域時検査等場所)
涌谷町河川防災センター
通過 11:30

(涌谷：避難所)
わくや天平の湯
到着 11:40

(登米)：避難退域時検査等場所
迫川防災ステーション(経由)
通過 10:00

南三陸町
戸倉・林・大久保
(南三陸：一時集合場所)
戸倉地区
出発 9:20

(美里：避難所)
美里町中央コミュニティセンター
到着 10:45

【取材・参観可能】
10:00-11:30
(事前説明 9:45~)
(美里：避難退域時検査等場所)
南郷体育館

(登米：一時集合場所)
豊里公民館
出発 9:45

(石巻：福祉施設)
出発 9:45

(石巻：一時集合場所)
石巻市立蛇田中学校
出発 9:05

(石巻：避難退域時検査等場所)
大塩市民センター
通過 9:30

(石巻：避難所)
富谷武道館
到着 11:30

(美里：一時集合場所)
小島集落センター
出発 9:50

(東松島：福祉施設)
出発 10:00

(東松島：避難退域時検査等場所)
大塩市民センター
通過 10:10

(東松島：一時集合場所)
宮野森小学校
出発 10:00

(東松島：避難所)
亙理町 各小中学校(開設なし)
通過 11:20

- 凡例：
- 避難訓練対象地域
 - 住民の動線
 - 一時集合場所
 - 避難退域時検査等場所
 - 避難所

0 5 10km

令和6年度原子力防災訓練マップ

交通対策等措置訓練・物資供給訓練等

※時間は想定です。

※取材・参観可能場所以外については、駐車場所がないなど、対応ができませんので、恐れ入りますが取材・参観を御遠慮願います。

2/13実施分
【取材・参観可能】
 9:00-10:35
 (事前説明8:30~)

(原子力災害医療活動訓練)
 石巻赤十字病院【原子力災害医療棟】

【取材・参観可能】
 1回目：9:00-10:00
 2回目：11:00-12:00

(航空機モニタリング(原子力規制庁))

渡波漁港



・マルチコプター



・無人ヘリ

物資供給訓練
 ヘリコプター(第6師団UH-1J)



2/13実施
 (原子力災害医療活動訓練)
 東北大学病院、仙台医療センター
 11:20 汚染傷病者受入れ

交通広報対策(県警)
 マルチ情報板
 国道45号上り線



交通広報対策(県警)
 小型文字情報板
 牧山道路東西方向信号脇



交通誘導対策(県警)
 コバルトライン入口交差点



放射線防護対策施設等

※施設毎のタイミングで
 屋内退避訓練を行います。

女川町

(屋内退避)
 女川町地域福祉センター

(屋内退避)
 旧女川第四小学校・女川第二中学校

(屋内退避)
 小屋取地区放射線防護対策施設

(屋内退避)
 旧江島自然活動センター

女川原子力発電所

(屋内退避)
 牡鹿保健福祉センター 清優館
 石巻市立牡鹿病院

(屋内退避)
 特別養護老人ホーム
 おしか清心苑

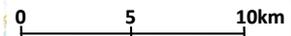
【取材・参観可能】
 12:30-13:00
 (事前説明 12:15~)

(物資供給訓練)
 牡鹿清崎運動公園
 特別養護老人ホームおしか清心苑

石巻市

(屋内退避)
 田代島開発総合センター

(屋内退避)
 網地島開発総合センター
 網小医院



図中の写真は、陸上自衛隊のHPから引用しています。